



令和6年4月4日

研修だより2号

## 新学期準備でしていること

小笠原康晃

新学期準備に向けての準備はどうでしょうか？

子どもたちと出会う前から準備をしっかりとしておくことが大切です。

笠原小の先生方はどのような準備をしているのでしょうか

牧野先生は「子どもの実態確認」と「1年間の理想や目標の確認」をしているそうです。

「子どもの実態確認」として、子ども一人一人の得意なことや苦手なことを確認したり、学習の習熟度の確認をしたりします。前任者から話を聞いたり、引継資料を見直したりして、準備をしています。

また、「1年間の理想や目標の確認」では、「こんな教員でありたい」「こんな姿になってほしい」ということを考えるそうです。子どもと出会う前に、1年後の姿をイメージしておきます。

齋藤先生は「1年後のゴールの姿をイメージすること」と「年度初めの3日間の計画を立てること」をしているそうです。

「1年後のゴールの姿をイメージすること」では、子どもたちのゴールの姿をイメージするそうです。5年生を担当するのであれば「6年生になったとき、こんなことができるようになってほしい」という目標を考えておくそうです。

また、「年度初めの3日間の計画を立てること」では、始業式を含む最初の3日間で話すことや決めることを整理しておくそうです。慌ただしい中であるからこそ、やるべきことを確認しておくことが大切ですね。

今回はお二人の先生のことを紹介させていただきました。

これらの方法は、先生方のキャリアから導き出された経験知です。

学年団で経験知を共有していくことが、何よりも価値のあるものだと思います。